



# 安全対策見える化『プレキャストブロック据付作業』

①吊り治具の確認

- 玉掛け用ワイヤー 4m、φ16mm ×2
- 玉掛け用ワイヤー 3m、φ16mm ×2
- シャックル 2.5t用 ×2
- レバーブロック 3.0t用 ×2

②丁張確認

- 丁張は延長10.0mごとに設置し段数を明記する
- 縦リブにブレイク割り付けの段数を明記し丁張にする
- 丁張に糸を10cm上げて張る

10.0m

2段目

1段目

丁張チェック!

③床付確認

空隙を少なく!

- 床付け精度を高め、ブロックの上げ下げを減少させる
- 裏込割栗石の空隙をなるべく少なくさせる (アクリル板等を利用)

④吊り治具の設置

- ブロックと吊金具の接触部を養生する (傷付け防止)
- バックブロック上側2ヶ所、フックが下側2ヶ所にし布設する

⑤ブロックの地切り、吊り上げ

介錯ロープ使用

- 玉掛け状態の確認をする (3・3・3運動の実施)
- 地盤から3m以上上げ、移動させる場合は介錯ロープを離して良い

⑥ブロック布設

足元注意!

- 丁張に張った糸に通りを合わせる
- 躓き横転の無い様足元注意!

⑦水平、勾配を確認

水平確認!

勾配確認!

- 水平を水平器で確認する
- 勾配を万外確認し、1:2.0にする

⑧微調整

- 微調整は必要に応じ爪ジャッキを使用する

⑨布設完了、根固め

隙間を詰める!

- 隙間があれば割栗石を挿入し根固めをする
- 布設完了